

県ユネスコ協会 会長から学ぶ

岐阜・九条の会

文化、芸術、思想などさまざまな角度から市民が平和について考える「岐阜・九条の会」の例会が三日、二百回目を迎えた。岐阜市美江寺町の岐阜合同法律事務所であった節目の例会には県内外から約二十人が参加した。

例会は、二〇〇四年十月に岐阜・九条の会



を設立して以降、月二回の頻度で開催。毎回、さまざまな分野の講師の話聞き、意見交流をしている。

二百回目は、国連教育科学文化機関（ユネスコ）について理解を深めようと、県ユネスコ協会の平井花画会長「写真」を講師に招いた。平井さんは「ユネスコの平和精神に導かれて」と題して講演。

ユネスコの組織の成り立ちや、日本ユネスコ協会連盟が展開する「世界寺子屋運動」について紹介した。

カンボジアでの地雷撤去や、衛生指導、教育の普及など、自身の活動についてもスライドを交えて紹介。平井さんは「『全ての人に

教育を」という言葉があるが、魚をあげるよりも釣り方を教えた方がいい」と話した。

(秋田佐和子)